【緊急調査が必要な場合の手続き】

- 1 数日を争うと判断される、緊急度が高い場合のみの対応とさせていただきます。
- 2 変更申請の場合は、変更申請を行うことが妥当であるかについてご検討ください。
例えば、要支援1・2や要介護1であっても、理由書の提出によりベッド等の福祉用具の保険給付は可能です。がん末期の訪問看護は医療での対応となります。
- 3 郵送、メール便での申請ではなく、市役所高齢福祉課又は各地域事務所の窓口へ申請書を持参して、申請を行ってください。ただし、通常の業務時間内での対応となります。
- 4 窓口でがん末期により認定調査に緊急の対応を必要とする事情を説明していただき、『緊急調査連絡票』を提出してください。家族申請の場合は職員が窓口で聞き取りを行います。
『緊急調査連絡票』より緊急と判断できない場合は対応しかねます。
- 5 ご家族が連絡の取りにくい状態であることが多いと思われるので、『緊急調査連絡票』には確実に連絡が取れる電話番号を記入してください。
- 6 審査判定には「主治医意見書」も必要となります。主治医（かかりつけ医）にもご協力いただきますようご連絡をお願いいたします。また、審査会等での迅速な対応に資するため、診断名に末期がんであることを明示していただくようご進言いただけるようお願いいたします。
- 7 申請と『緊急調査連絡票』の提出をもとに、可能な範囲ですみやかに認定調査を実施いたします。
しかし、緊急対応によっても調査が間に合わない場合がありますので、代行申請である場合、ご家族様には自費負担の可能性も含め、その旨充分ご説明いただきますようお願いいたします。